

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析および考察についてのお知らせ

晩秋の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動にご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、6年生を対象に4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、課題を分析および考察したものをもとに、今後の本校の教育活動についてお知らせ致します。

◇本校の成果・課題と考えられる事項◇ ※全国平均のポイントよりも特に高い項目と低い項目

国語

- ※基礎知識を問う問題から
 - 漢字を書いたり読んだりする。
 - 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。
 - △ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。
- ※活用力を問う問題から
 - 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。
 - 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
 - △目的や意図に応じて、文章全体の構成を考える。
 - △目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く。
 - △話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉える。

算数

- ※基礎知識を問う問題から
 - 商を分数で表すことができる。
 - 正五角形は、五つの合同な二等辺三角形で構成できることを理解している。
 - 資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる。
 - △整数の乗法の計算をすることができる。
 - △未知の数量を表す□を用いて、問題場面を除法の式に表すことができる。
- ※活用力を問う問題から
 - 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できる。
 - 問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述できる。
 - △示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できる。

質問紙調査(学習・生活環境のアンケート)

- 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えをもつことができる児童は約9割5分で、平均を10ポイント上回り、どの児童も友達の話や意見を最後まで聞くことができると答えている。また、約7割5分の児童が話し合いで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると答え、平均を10ポイント上回っている。
- 全員が宿題に取り組み、平日家庭で1時間以上勉強をしている児童は9割5分で、平均を30ポイント上回っている。また、計画を立てて勉強している児童は、約6割で平均並みだが、授業の復習をしている児童は3割5分で、平均を20ポイント下回っている。
- 約9割の児童が、国語や算数の授業はよく分かると答え、国語では考えの理由が分かるように気をつけて書いたり(約8割5分)、算数では、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている(約9割5分)と答え、どちらも平均を10ポイント上回っている。
- どの児童も学校へ行くのは楽しいと思っている。また、学校のきまりや友達との約束を守っていると答え、いじめはどんな理由があってもいけないことだと思っている。
- △国語の授業で意見発表するとき、7割5分の児童はうまく伝わるように話の組み立てを工夫していると答えているが(平均を15ポイント上回る)、原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが難しいと思っている児童は6割5分、授業で自分の考えを他の人に説明したり、文章に説明したりすることが難しいと思っている児童は5割で、どちらも平均を5ポイント上回っている。
- △自分にはよいところがあると思っている児童は8割5分で、平均より5ポイント高いが、難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している児童は6割で、平均を15ポイント下回る。

以上の事項を踏まえた本校の課題

- 多面的に捉えたり、分析的に捉えたりして、論理的に思考を深めていく力の育成
- 自分の言いたいことを聞き手にうまく伝えたり、自分の考えをまとめて話したり書いたりする力の育成
- 決められたことはできるが、さらによりよい自分に高めていこうとする心の高揚と主体性



◇学校として今まで以上に力を入れたいこと

- ・考えの過程を大切にしたいノートづくり(根拠をもとに自分の考えを的確に記述、年3回のノート交流会の実施)
- ・課題やテーマについて自分の考えを簡潔に書く場を意図的に設ける(毎時間の授業でのまとめ)
- ・根拠を明確にして筋道立てて話す(授業での発言、グループ・ペア交流、話し合い活動など)
- ・自主学習の内容をより詳しく示していく(教科書を利用した予習や復習、調べ学習など)
- ・家庭学習の充実と見届け(家庭学習パワーアップ週間の設定、確かな見届けとやりきり)

◇家庭で大切にしていきたいこと

- ・学習時間の確保と学習の見届け(ノートの点検、励ましの声かけ)
- ・コミュニケーションの時間の確保(会話、ふれあい、親子読書、町図書館の利用など)

